

兵庫県東播磨地域小学・中学・高校における 花粉症に伴う口腔アレルギー症候群および 食物依存性運動誘発性アナフィラキシー疫学調査

出典 *Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergology*
(1882-0123) 1巻 2号 Page102-108 (2007. 07)
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2008116580>)

著者 足立厚子 他

調査地域 兵庫県

調査時期 2003 年

調査対象
小学生 (6~12 歳)
中学生 (12~15 歳)
高校生 (15~18 歳)

有効回答数 小学生 : 25171 人、中学生 : 12881 人、高校生 : 8567 人

有効回答率 97.5%

診断方法 教員の申告

有症率
OAS : 0.11%
FDEIA : 0.07%

調査概要 兵庫県東播磨地域の小学・中学・高校生を対象に OAS、FDEIA を調査した論文。
OAS は年少児ではキウイが多く、FDEIA は小学生ではエビ・ソバ・ナッツ、
中学・高校生では小麦・エビが多かった。